

令和6年度

学校評価



坂井市立兵庫小学校

目 次

スクールプラン	P 1
学校評価計画	P 2
学校評価年間スケジュール	P 3
学校評価結果と分析	P 4 ~ 8
学校評価アンケート用紙	P 9 ~ 11



令和6年度

坂井市立兵庫小学校 スクールプラン

坂井市 教育の基本目標

豊かな心と生きる力を育み、未来を拓く都市づくり 一人の心は、人を支え、人を育てる

坂井市教育振興基本計画

- ・ 確かな学力を育む教育の推進
- ・ 豊かな心を育む教育の推進
- ・ 健やかな体を育む教育の推進
- ・ 社会の変化に対応した教育の推進
- ・ 地域の特性を生かした学校づくりの推進
- ・ 特別支援教育の推進 ・ 教職員の資質向上
- ・ 社会の変化などに対応した学校施設などの整備

<教育目標>

仲間や地域と協働し、人間性豊かな兵庫っ子の育成

めざす学校像 笑顔の登校、感謝の下校

- 児童が笑顔で学べる学校
- 教師がやりがいもち研究実践できる学校
- 保護者が安心してわが子を託せる学校
- 地域に愛される学校

めざす児童像 兵庫っ子（ひょうご）

- ひとにやさしく
- よいあいさつ
- うんとがんばる
- ゴールをめざす

めざす教師像 学び続ける教師、アップデートしていく教師

- 人間性豊かな教師
- 指導力の確かな教師
- 協働し力のある教師

児童の実態

学校やみんなで何かをするのは楽しいと感じている児童は多い
授業がよくわかるという児童は多いが主体的に取り組んでいる児童は少ない

保護者・地域の願い

地域を愛する子
思いやりのある子
困難な状況にもしなやかに対応できる子
自分の思いを発信し、周りの人と協働できる子



確かな学力の育成

- ◎深い学びにつながる授業づくり
- 情報活用能力の育成

具体的な取り組み

- 主体的対話的で深い学びにつながる授業の改善
 - ・ 考えをもち、まとめ、伝える力の育成
 - ・ 基礎基本の定着と課題解決への活用
- 多様な方法で表現する力の育成
 - ・ 表現する場と方法の工夫
 - ・ ICT機器の積極的活用
- 考える力の育成
 - ・ 情報収集・活用能力の育成



数値目標

- ・ 授業がわかると感じる児童【90%以上】
- ・ ICTを活用して伝え合うことのできる児童【90%以上】

豊かな心の育成

- ◎魅力ある学校づくりの推進
- 体験活動の充実

具体的な取り組み

- 魅力ある学校づくりの推進
 - ・ 受容的な学校・学級づくり（A7xの実施）
 - ・ いじめ不登校の未然防止
 - ・ ポジティブ教育の推進
- 体験活動の充実
 - ・ 地域の人材を生かした体験活動
 - ・ 縦割り班や異学年による積極的交流
- 特別活動・人権教育の推進
 - ・ インクルーシブ・障がい理解教育
 - ・ 人権意識を高める指導



数値目標

- ・ 学級学校が楽しいと感じる児童【90%以上】
- ・ 他の児童や地域の方との体験活動が楽しいと感じる児童【90%以上】
- ・ 我が子の道徳性が身についていると感じる保護者【85%以上】

健やかな体の育成

- ◎健康教育の充実
- 危機管理能力の育成

具体的な取り組み

- 健康教育の充実
 - ・ 健康への関心を高め、実践する指導（感染症予防、目と歯の健康）
 - ・ 心と体に関する連携した個別支援
- 交通安全教育の充実
 - ・ 集団登下校の安全指導
- 防災防犯教育の充実
 - ・ 避難訓練・防犯訓練・引継ぎ訓練
- 体力づくりの推進
 - ・ 「らんらんタイム」の充実
 - ・ 継続できる体力づくりの工夫



数値目標

- ・ ルールを守って登下校ができる児童【90%以上】
- ・ 進んで体力づくりに取り組む児童【85%以上】

開かれた学校づくり

- ◎家庭、地域との連携の充実
- 情報公開と信頼される学校づくり

具体的な取り組み

- あいさつ3名人（元気・心・笑顔）の推奨
- おたより、Home & School、ホームページ、ブログ等を効果的に活用しての学校情報の積極的な発信
- 保幼小、小小、小中の連携事業の充実
- スマートルールに関して家庭と連携した実践



数値目標

- ・ 進んであいさつができる児童【90%以上】
- ・ 家庭で決めたスマートルールを実践できる児童【80%以上】
- ・ 学校の様子がよくわかると感じる保護者【90%以上】

<業務改善の取り組み> 「笑顔で児童と丁寧に向き合うための意識改革」・・・「自分のために、家族のために」「楽しく、明るく、協働する職員」
 【具体的な取り組み】 ○勤務時間に関する意識改革 → 斉退庁デーの推進、リフレッシュ計画年休の実施 ○行事精選への保護者・地域の理解と協力依頼
 ○会議資料の事前配布、効率的運営 ○データの整理、共有化による業務内容と時間の効率化

令和6年度 学校評価計画

坂井市立兵庫小学校

1 学校評価のシステム

(1) スクールプラン

学校教育目標に基づき学校長が示し、前年度反省を踏まえて重点目標及び目標達成指数（肯定的回答の割合）を設定する。

(2) 学校全体の評価

スクールプランの実践について、取組、成果、満足度の視点から児童、保護者、職員に対しアンケートを行う。アンケート結果は数値化し、成果と課題、次年度への改善策・向上策を話し合い、学校評価書にまとめる。

(3) 教職員の自己目標（目標管理表）

教職員各自の目標は、スクールプラン（特に重点目標）との適合性をもち、教職員各自が強みを生かして努力することで学校目標の実現を目指す。自己評価における目標の達成状況は、学校全体の評価を参考に判断し、客観的な振り返りを行う。

(4) 学校関係者評価

保護者、地域住民の視点から、学校評価書をもとに、スクールプランの達成度や児童、教職員の資質・能力の向上について総合的に評価・検証する。

2 学校評価の組織

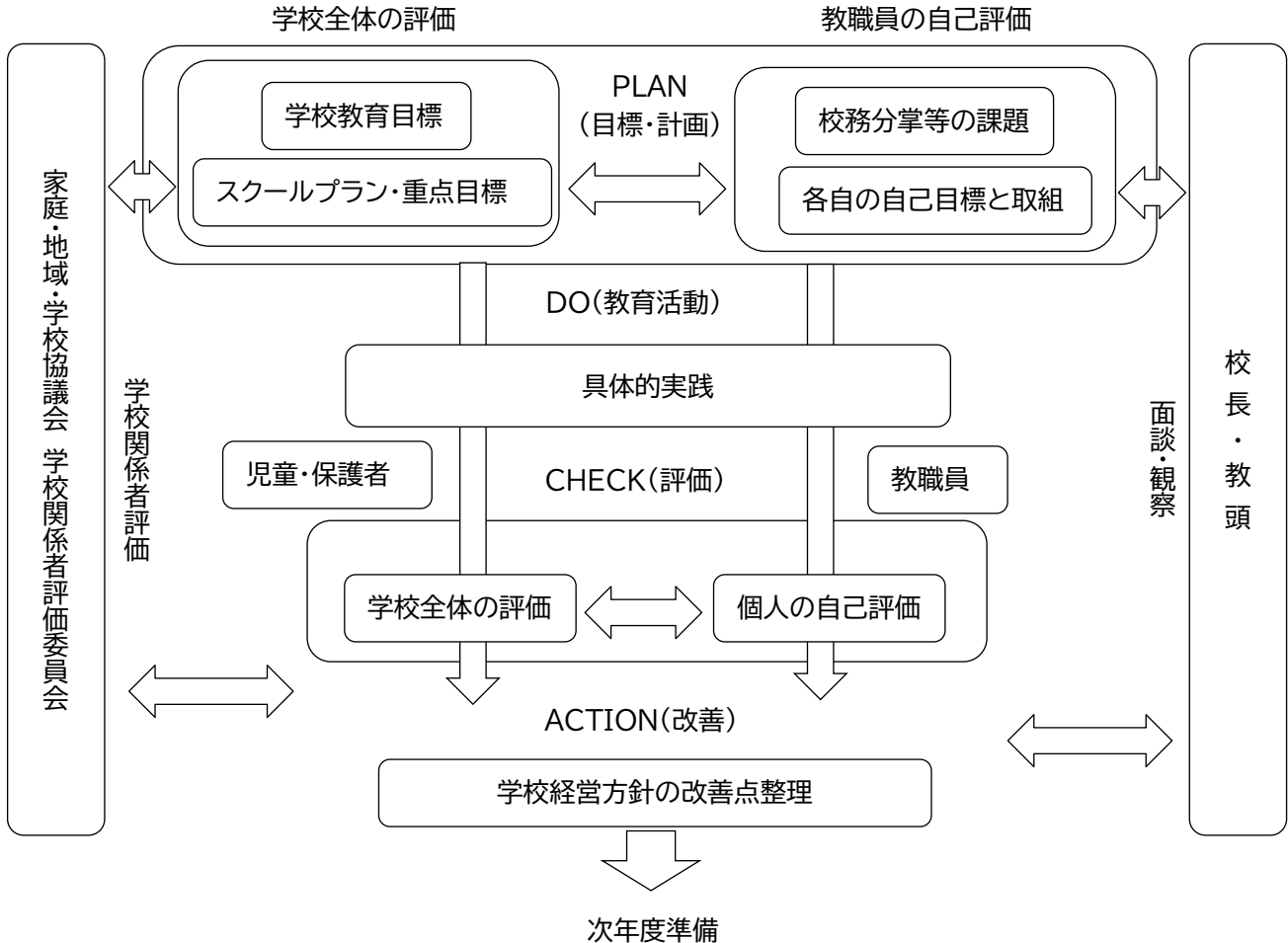
(1) 校内評価委員会

企画委員会および校務分掌各主任を核に組織する。学校評価アンケートの作成、実施、結果の分析を行い、職員会議で提示する。

(2) 学校関係者評価委員会

保護者、家庭・地域・学校協議会を核に組織する。地域住民の視点から学校経営を検証し、改善策、向上策を提案し、学校評価書に反映させる。

3 学校評価の構想図



令和6年度 学校評価年間スケジュール

	学 校 自 己 評 価		学校関係者評価
	教 職 員	保 護 者	家庭・地域・学校協議会
1 学 期	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">令和4年度の重点目標の設定 (4月)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">評価委員の依頼 (7月)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">教職員の評価実施 (7月)</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・PTA 全体会(中止の場合は学校便り)等で学校から重点目標の説明を受ける (4月) ・運動会 (5月) </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> 第1回 家庭・地域・学校協議会 ・学校行事・授業の参観 ・学校から本年度の重点目標や取組状況の説明を受ける (7月) </div>
2 学 期	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学校全体の評価実施 (12月)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">保護者アンケート集計・分析・検討</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> 学校公開(学校行事・授業の参観) ・マラソン大会(10月) ・学習発表会(11月) </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;">保護者アンケート回答 (12月)</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> ・学校行事・授業の参観 ・学校から活動取組状況の説明を受ける </div>
3 学 期	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学校全体の評価結果を踏まえた改善策の検討</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学校関係者評価の結果を踏まえた改善策の見直し</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">学校評価の結果と改善策を報告・公開</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> 学校公開(学校行事・授業の参観) ・なわとび大会 ・授業参観(2月) </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> 第2回 家庭・地域・学校協議会 ・学校行事・授業の参観 ・学校自己評価の結果と改善策等について評価 (2月) </div>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> 次年度の目標設定や具体的取組の立案 </div>			

学校評価アンケート結果

<確かな学力>

回答者	質問内容	昨年度	今年度	目標数値
児童	授業が分かる。	99	95.1	90
教職員	授業のユニバーサルデザイン化や誰一人取り残さない教育の実践に努めた。	100	100	
教職員	研究テーマを意識した授業実践や自分の資質向上のための研修に努めた。	100	100	
児童	漢字の日、計算の日のテストに向けて進んでテスト勉強に取り組めた。	90.5	93.9	
教職員	基礎・基本の定着のために計画的な指導と、その工夫ができた。	100	100	
保護者	学校は、漢字・計算など、基礎・基本の定着に取り組んでいる。	89	93.4	
児童	他の人の意見をしっかり聞いて、自分の考えをまとめることができた。	95.8	90.2	
教職員	互いに考えを伝え合い、自分の考えを深める学習活動の場と方法の工夫ができた。	90.9	100	
児童	タブレットなどを使って調べたり、作ったりしたものを他の人に伝えたりすることができた。	96.8	93.9	90
教職員	授業の中でICT機器を積極的に活用できた。	90.9	100	
教職員	情報収集や活用能力、情報モラルの育成に取り組むことができた。	91	88.9	
児童	学級や学校の本を読んでいる。	76.6	68.3	
保護者	お子さまは、家庭で宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。	65.9	74.7	

○成果

- ・基礎基本の取り組みには、児童・保護者ともにおおむね満足
- ・家で家庭学習にしっかり取り組む姿がみられる。（宿題や課題がそれぞれの子どもたちに合っていた）

●課題

- ①「授業が分かる」と感じる児童が減少した。（しっかり必要な話を聞けていないのが原因か？）
- ②児童自ら読書する機会が少なかった（休み時間などで読書より身体を動かすことを優先することが多かった）。
- ③「自らの考えを深め、伝え合う活動」や「タブレットなどで調べ、まとめた内容を人に伝える活動」に対して取り組めていないと感じる児童が一定数いる。

◇改善策・向上策

- ①「聞く力」の強化（聞くことの必要性を実感させる）…集会での内容を教室に戻ったときに確認（口頭、連絡帳やワークシートなど）
- ②年度初めに高学年が低学年に読み聞かせをする機会を設ける（週に1回程度、2、3人で低学年の教室に読み聞かせに行く等）
- ③ICTを活用して自分や友達と一緒に作った作品を紹介・発表する機会を増やす。（クラス内、他学年、

学校評価アンケート結果

<豊かな心の育成>

回答者	質問内容	昨年度	今年度	目標数値
児童	学級・学校は楽しい。	98.9	96.3	90
児童	他学年の人との交流は楽しい。	98.9	91.5	90
児童	友達のよいところを見つけ、仲良くすることができた。	96.8	95.1	
教職員	自他の人権を尊重し、一人一人のよさを認め合う集団づくりに取り組むことができた。	100	100	
教職員	ポジティブ教育に計画的に取り組むことができた。	91	88.8	
教職員	考え、議論する道徳の授業実践に努めた。	90.9	87.5	
保護者	お子さまは、思いやりの心や善悪の判断、人権尊重など道徳性が身に付いている。	92.7	92	85
児童	体験活動を通して、作物や植物などの育て方を学んだり、福祉について学んだりできた。	94.7	95.2	
教職員	地域の人材を生かした体験学習に取り組むことができた。	100	100	
教職員	教育相談などを通し、児童の悩みや困っていることに適切に対応した。	100	90	
保護者	学校は、子どもの悩みや困っていることに対応している。	79.3	77.3	

○成果

・体験活動を増やしたため、学級・学校は楽しい、他学年との交流は楽しいなど、目標数値を超えることができた。

●課題

・教職員は「児童の悩みや困っていることに適切に対応した」が100%なのに対して、保護者の「学校は、子どもの悩みに対応している」が77.3%と、認識に差がある。

◇改善策・向上策

・児童の悩みに丁寧に対応することを継続すると共に、日頃から児童との人間関係づくりを積極的に行っていく。また、保護者とも連絡を密に取り合う。欠席連絡はHome&Schoolで行っているが、気になることがある場合には保護者に連絡を取るようにする。Home&Schoolを使っている保護者との連絡体制の取り方を、今年度中に検討する。

学校評価アンケート結果

<健やかな体>

回答者	質問内容	昨年度	今年度	目標数値
児童	交通ルールを守って、安全に集団登校・下校ができた。	98.9	95.1	90
教職員	集団登下校の交通安全指導ができた。	90.9	100	
保護者	学校は、登下校の交通安全指導に取り組んでいる。	93.9	78.6	
児童	地しんや火災・水難・不審者のひなん訓練で命を守る方法を理解することができた。	100	96.3	
教職員	防災・防犯訓練などを通して自ら命を守る力の育成ができた。	100	90	
保護者	学校は、地震・火災・不審者などの避難訓練に取り組んでいる。	90.2	93.4	
児童	「らんらんタイム」の体力づくりでは最後までがんばることができた。	97.6	95.1	85
教職員	縦割り班による体力づくりでは児童の活動を支援できた。	100	100	

○成果

- ・避難訓練に真面目に取り組み、自ら命を守る方法を理解できている児童が多い。
- ・昨年度に比べ、「らんらんタイム」の体力づくりの時間が増えた。特になわとびの時間が増え、児童の体力づくりの向上につながっている。

●課題

- ・「学校は、登下校の交通安全指導に取り組んでいる。」の保護者による評価が、前年度に比べて低い。

◇改善策・向上策

- ・避難訓練は、教職員から出てきた振り返りを元に、問題点を改善した訓練を今後も継続して行っていく。また、実際の状況を十分に想定した避難訓練となるようにする。
- ・登校の際の歩き方や横断歩道の渡り方などについて、児童への継続的な指導を行う。保護者からあがってきた意見については、全職員で共通理解をはかり、地区こども会等で指導する。

学校評価アンケート結果

<開かれた学校づくり>

回答者	質問内容	昨年度	今年度	目標数値
児童	あいさつができた。	95.7	97.6	90
教職員	あいさつの指導ができた。	90.9	90	
保護者	兵庫小学校の児童は、地域の方へのあいさつができています。	80.5	81.3	
児童	スマートルール（おうちの人と決めた約束）を守ることができた。	90.5	87.8	80
教職員	スマートルールの取り組みについて定期的に指導できた。	100	87.5	
保護者	お子さまは、スマートルール（各家庭で話し合ったインターネット利用などの約束）を守っている。	65.9	62.7	
教職員	Home & School によるおたより配信などで情報発信ができた。	100	100	
保護者	学校は、学校やお子さまの様子が分かるよう、Home & School によるおたより配信などで情報を発信している。	96.4	84	90

○成果

- ・あいさつに関しては、児童自身の評価も保護者の評価も昨年度の結果を上回った。

●課題

- ・スマートルールについては、定期的に指導できた教員の割合が低かったことも一因だと思われるが、児童の評価も保護者の評価も昨年度より低下した。
- ・今年度よりHome & Schoolによるお便り等の配信に変わったせいもあってか、学校の情報発信に関して、十分に満足できていない保護者がいる。

◇改善策・向上策

- ・スマートルールの取り組みに関しては、保護者・関係外部機関と連携しながら、強化週間だけでなく、日常的に取り組んでいく必要がある。
- ・学校の情報発信については、学校行事等の際に写真の配信などにより、子どもたちの様子が少しでも伝わるような工夫をしていく。

◇保護者の方、家庭・地域・学校協議会の方のご意見・ご要望を受けて

- ・ コミセン周辺の道路、農道などでの自転車の乗り方、横断歩道（信号機の有無に関わらず）など、危ないと感じたことがあります。
- 学校で、正しい自転車の乗り方などについて再度指導をします。また、横断歩道をはじめ危険箇所について把握するとともに、見守り隊の方とも連携を図り、安全に登下校できるような取り組みを今後も継続して行っていきます。保護者の方も危険な場面を見かけた時は、注意など声かけをお願いします。

- ・ いじめや仲間外れはしないという子供たちの意識を高めてほしいです。
- ・ 子供一人ひとりの話をきちんと聞いてほしいです。
- 実際、自分の言動が「いじめ」だと認識していないこともありました。どのようなことがいじめになるのか、またいじめがなぜいけないのかなど、再度子供たちにしっかりと認識をさせます。その上で、「アンケート結果<豊かな心の育成>」の「◇改善策・向上策」にもありますように、今後も児童の悩みに丁寧に対応することを継続すると共に、日頃から児童との「信頼できる」人間関係づくりを積極的に行っていきます。

- ・ 子供たちがタブレットやスマートフォンなどを使用する際に、正しい使い方ができるような指導をしてほしいです。
- 情報モラル教育に関しては、トラブル防止やいじめの予防の取り組みと併せて、警察、弁護士などの関係専門機関との連携の強化を図り、「使わない・使わせない」ではなく、「正しい方法で使う」という指導を行っていきます。その一環として「スマートルール」については、今後も保護者の皆様のご協力を得ながら、強化週間だけでなく日常的に取り組みを継続して行っていきます。おうちの方でもスマートルールについて、今一度お子さんと確認してください。

- ・ C4th(Home & School)において、保護者と学校がお互いにやりとりできるような機能があるとうれしいです。
- Home & Schoolは坂井市共通のシステムですので、学校独自で機能の追加などできない状態です。今後、坂井市全体でそのような機能を追加してもらえよう要望をしていきます。

学校生活を振り返って<児童用>

学年 _____ 年 _____

*学校生活を振り返って、下のA～Dから当てはまるものを選んで記号に○を書いてください。

- A … よく分かる、よくできた、とても楽しい
- B … だいたい分かる、だいたいできた、まあまあ楽しい
- C … あまり分からない、あまりできなかった、あまり楽しくない
- D … ほとんど分からない、ほとんどできなかった、ぜんぜん楽しくない

- 1 授業が分かる。 [A B C D]
- 2 漢字の日、計算の日のテストに向けて進んでテスト勉強に取り組むことができた。
[A B C D]
- 3 他の人の意見をしっかり聞いて、自分の考えをまとめることができた。
[A B C D]
- 4 タブレットなどを使って調べたり作ったりしたものを他の人に伝えることができた。
[A B C D]
- 5 学級や学校の本を読んでいる。 [A B C D]
- 6 学級・学校は楽しい。 [A B C D]
- 7 他学年の人との交流は楽しい。 [A B C D]
- 8 友達のよいところを見つけ、仲良くすることができた。 [A B C D]
- 9 体験活動を通して、作物や植物などの育て方を学んだり、福祉について学んだりすることが
できた。 [A B C D]
- 10 交通ルールを守って、安全に集団登校・下校ができた。 [A B C D]
- 11 地しんや火災・水難・不審者のひなん訓練で命を守る方法を理解することができた。
[A B C D]
- 12 「らんらんタイム」の体力づくりでは最後までがんばることができた。
[A B C D]
- 13 あいさつができた。 [A B C D]
- 14 スマートルール（おうちの人と決めた約束）を守ることができた。
[A B C D]

学校評価アンケート＜教職員用＞

A：よく当てはまる　　B：だいたい当てはまる　　C：あまり当てはまらない
D：全く当てはまらない　　A～Dの4項1択でご回答ください。

- 1 授業のユニバーサルデザイン化や誰一人取り残さない教育の実践に努めた。
- 2 基礎・基本の定着のために計画的な指導と、その工夫ができた。
- 3 研究テーマを意識した授業実践や資質向上のための研修に努めた。
- 4 互いに考えを伝え合い、自分の考えを深める学習活動の場と方法の工夫ができた。
- 5 授業の中でICT機器を積極的に活用できた。
- 6 情報収集や活用能力、情報モラルの育成に取り組むことができた。
- 7 自他の人権を尊重し、一人一人のよさを認め合う集団づくりに取り組むことができた。
- 8 ポジティブ教育に計画的に取り組むことができた。
- 9 考え、議論する道德の授業実践に努めた。
- 10 地域の人材を生かした体験学習に取り組むことができた。
- 11 教育相談などを通し、児童の悩みや困っていることに適切に対応した。
- 12 集団登下校の交通安全指導ができた。
- 13 防災・防犯訓練などを通して自ら命を守る力の育成ができた。
- 14 縦割り班による体力づくりでは児童の活動を支援できた。
- 15 あいさつの指導ができた。
- 16 Home & School によるおたより配信などで情報発信ができた。
- 17 スマートルールの取り組みについて定期的に指導できた。

- ① 教育課程について（年間計画、授業数、生活時間表など）
- ② 校務分掌について
- ③ 研究について
- ④ 生徒指導について
- ⑤ 保健指導について
- ⑥ 管理・渉外について

*質問に対して当てはまるものをA～Eの中から1つ選んで○を付けてください。

A：よく当てはまる B：だいたい当てはまる
 C：あまり当てはまらない D：全く当てはまらない
 E：分からない

- 1 お子さまは、家庭で宿題や自主学習に取り組んでいる。 [A B C D E]
- 2 お子さまは、思いやりの心や善悪の判断、人権尊重など道徳性が身に付いている。 [A B C D E]
- 3 お子さまは、スマートルール（各家庭で話し合ったインターネット利用などの約束）を守っている。 [A B C D E]
- 4 学校は、漢字・計算など、基礎・基本の定着に取り組んでいる。 [A B C D E]
- 5 学校は、子どもの悩みや困っていることに対応している。 [A B C D E]
- 6 学校は、登下校の交通安全指導に取り組んでいる。 [A B C D E]
- 7 学校は、地震・火災・水難・不審者などの避難訓練に取り組んでいる。 [A B C D E]
- 8 学校は、学校やお子さまの様子が分かるよう、Home & School によるおたより配信などで情報を発信している。 [A B C D E]
- 9 兵庫小学校の児童は、地域の方へのあいさつができています。 [A B C D E]

学校へのご要望・ご意見などがありましたらお書きください。